

千葉県香取市の総合事業について

計画事業

現況及び課題

- 本市は、県内第4位の広大な市域面積を有しており、加えて居住地域が市内に分散しているため、市内の包括的な路線を設定しにくい。
- 市内の公共交通利用者は、主に高齢者や学生等の移動制約者であり、通院・通学、買い物等の足としての利用が非常に多い傾向にある。
- 市内では、佐原区、山田区、栗源区でコミュニティバスを導入しており、未導入の小見川区には公共交通空白地域・公共交通要望地区が集中している。

実施事業の内容

【小見川区循環バス実証運行】

- ◆期間 平成21年10月～平成24年3月
- ◆ルート ①中央・西ルート(約29.1km)
②南・中央ルート(約38.6km)
- ◆便数 各ルート1日5便
- ◆運賃 大人:300円、中高生:100円
小学生以下・障害者手帳所持者:無料

【大倉線実証運行】

- ◆期間 平成21年4月～平成23年9月
- ◆ルート 佐原粉名口車庫～佐原駅～県立佐原病院～
香取駅～水郷駅～小見川駅～小見川総合病院
- ◆便数 1日4往復
- ◆運賃 対キロ区間制

※次年度以降実施予定事業

- バス路線網等の普及啓発
- 周遊バスの検討及び実証運行

活性化の目標・方向性

【小見川区循環バス実証運行】

- 公共交通空白地域かつ公共交通要望地区が集中しており、市内の公平性、均衡ある公共交通施策を推進するため、小見川地区にコミュニティバスを導入し、通院・通学への交通手段の確保及び公共交通空白地域の削減、縮小を目指す。

【大倉線実証運行】

- 佐原地区と小見川地区の中心市街地を結ぶ路線であることから、鉄道駅はもとより市役所や病院を結ぶ路線として整備し、潜在需要の喚起を行う。

千葉県香取市 : 大倉線実証運行事業の実施区域

